

スクールカウンセラー便り

2021(令和3)年10月
高崎高校スクールカウンセラー
臨床心理士：泉野淳子

【スクールカウンセラーの在校日：火曜日】

10月 5日(火)、12日(火)

11月 2日(火)、9日(火)、30日(火)

12月 7日(火)、14日(火)、21日(火)

【時間】 1回 約45分

【場所】 カウンセリング室（管理棟3階、電算室の手前）

【来室方法】 原則として予約が必要です。担任や副担任の先生、保健室の先生、教職員にSC希望の旨をお伝えください。生徒さんはもちろん、保護者さんもどうぞご来室ください。



「人間は考える葦である」(パスカル)や「我思う、ゆえに我あり」(デカルト)といった言葉からは、人間にとって思考が大変重要であると見なされていたことが分かります。彼ら17世紀の「知の巨人」たちは、明晰な意識を持ち思考することこそが人間存在の意味であると考えていたようです。



晩年のフロイト、『フロイト 精神の考古学者』(鈴木晶、河出書房新社、1998)

一方、19-20世紀に精神分析を創始したフロイトは、「意識は人間を司る一部に過ぎず、人間の営みの大半は無意識によって為される」と考えました。人間には合理的思考や知性の届かない無意識の領域がある、という彼の主張は受け入れられず、当時、非常に反発を買いました。でも、皆さんは、「頭ではわかっているのに気持ちがついていかない」「Aをしようと思いながらふとBをしてしまう」「C地点に行くつもりでD方向に向かってしまった」などという経験はありませんか。フロイトは日々のそのような小さな事柄も、無意識を想定することで説明可能になるとして精神分析理論を創りあげました。

色々な考え方があって面白いですね！